

ニイハマ写真部

まち歩き撮影会

愛媛県総合科学博物館

2020年1月25日(土)
10:00~12:30



このマークがついているポイントで、写真家 木村孝さんの撮影レクチャーがあります。

① 裏から見る球形ドーム

プラネタリウムドームをいろんな角度から見てみよう! 自然あふれる山と近未来的な球の対比で、密林に潜む謎の巨大球体に見えたり、いつもと違う表情のドームを体感できるはず。



⑤ エントランスホールと地下通路

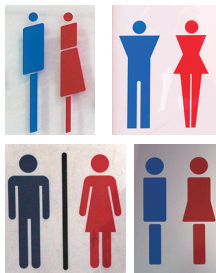
1階と地下の床には6,000億分の1の縮尺で太陽系が描かれている。プラネタリウム棟へ向かう地下通路の天井を見上げると、ガラスと池の水越しに空と円錐タワーが!



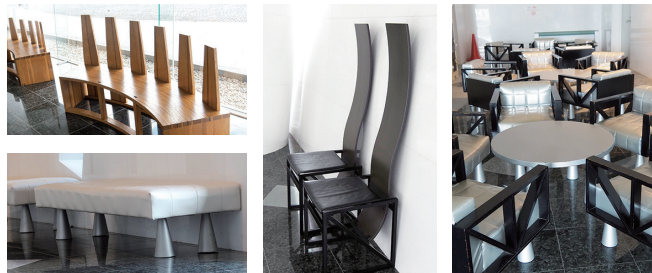
★ ○△□、斜め、曲線を探そう!



★トイレのサイン 何種類ある?



★おしゃれな椅子たち

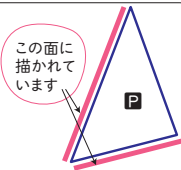


愛媛県総合科学博物館とは?

平成6年11月開館。3つの常設展示室(自然・科学技術・産業)、企画展示室、屋外展示に加え、世界最大級のプラネタリウム、天文台、多目的ホール、図書室、研修室も整備された複合施設。自然観察や科学実験などの講座もあり、子供も大人も楽しく学べる人気スポット。愛称は「カハク」。



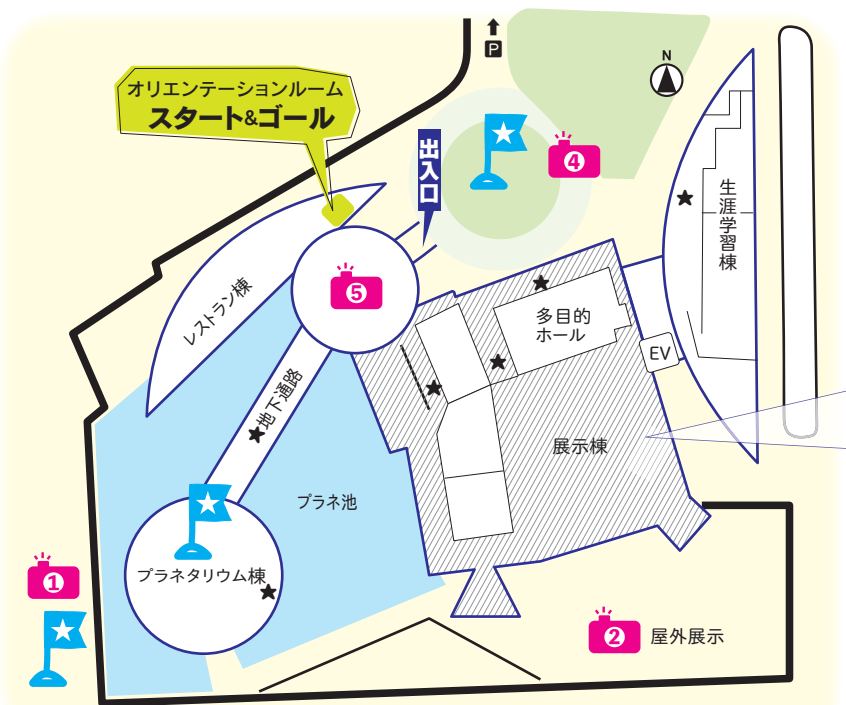
博物館から高速道路を挟んで北側にある三角形の立体駐車場。その壁面に描かれているものは、南米ペルーのナスカ高原にある地上絵の一部を正確に写したモノ!



※樹木が成長したため、現在は半分以上が隠れています。

④ 外観

それぞれの建築の空間単位のずれや自由を強調するため、外壁にわざと別々の石材を埋め込んだり、打放しコンクリート、アルミ貼り、透明ガラス、反射ガラスなど異なる材料を使用している。



建築の特徴は?

黒川紀章建築都市設計事務所 設計。一つの建築物ではなく、円錐形、半月形、正方形、球形、三角形など、幾何学形態の建築の集合体。各空間相互や自然との共生を目指し、軸や中心をずらすことで、日本人特有の非対称の美意識を取り入れている。一際目を引くガラスの円錐タワーは、黒川建築のアイコン的存在。

③ 屋上 特別に許可をいただき、屋上に潜入!

天気の良い日はしまなみ海道が!

金子山のテレビ塔

広々とした屋上

天文台と山並み

年6回開催している天体観望会(要事前申込)の時だけ一般開放される天文台。

② 屋外展示

別子銅山四阪島製錬所のGF型転炉やカラミ電車、新居浜火力発電所のタービンローター、製水工場のコンプレッサー、湯山第一発電所の水車や発電機など、かつて愛媛県の産業を支えた大型産業機械が展示されている。

